

戸塚区公式ツイッター



#オカタイトツカク  
#オカタクないトツカク



こころ豊かに つながる笑顔 元気なとつか



2021

No.284

6

▶戸塚区*のいま* (令和3年5月1日現在)

人口: 284,473人

世帯数: 123,162世帯

※令和2年国勢調査人口速報集計結果による推計です



神奈川県立公文書館所蔵

# 特集 戸塚と1964

## ～1964年東京オリンピックに携わった戸塚区ゆかりの人たち～

オリンピックには欠かせない聖火リレー。開催国全体にオリンピックを広め、オリンピックへの関心と期待を呼び起こします。実は、57年前の東京オリンピックで使われたトーチは当時の戸塚区(現在は泉区)にある工場で作られました!現在は東京に本社を構える昭和化成株式会社(現 日本工機株式会社)に当時のお話を伺いました。



トーチを作った喜びを社員一同が味わったと共に、「戦後の復興を遂げた日本の技術を世界に示すことができた」誇りも感じていたと聞いています。

10万人を超えるランナーによりギリシャから運ばれた聖火が、代々木の国立競技場の聖火台に点火された瞬間の興奮と安堵は、今なお私たち社員に当時の記憶として語り継がれています。

### そしてこれからも…

東京オリンピックでのトーチの技術の評価していただき、その後の1972(昭和47)年の「札幌冬季オリンピック」や、1984(昭和59)年の「サラエボ冬季オリンピック」でも当社のトーチが採用されました。

今ではさまざまなスポーツイベントでもトーチが使われるようになりました。

東日本大震災の被災地、福島県西白河郡にある当社の工場で作った「雨にも負けない」「風にも負けない」「絶対消えない」聖火トーチ®。これからも、オレンジの炎と白い煙に復興への想いを託していきたいと思っています。

※「聖火トーチ®」は日本工機株式会社の登録商標です

### Q どのような経緯でトーチを製作するようになったのですか

当社は1958(昭和33)年アジア競技大会のトーチを作った経験があったからでしょうか、火工品の製造をしていた昭和化成株式会社(現 日本工機株式会社)の戸塚工場にオリンピック組織委員会から「点火しやすい」「雨風に強く絶対消えないトーチ」を作ってほしいと依頼がありました。

### Q 製作するうえで大変だった点は?

全国を走る聖火リレーです。風の強い地域などでも絶対に消えないもの、さらに、炎や煙でランナーがやけどをしないようにしなければならないなど、工夫する点が多くて苦労しました。

### Q たくさんクリアすべきポイントがあったのですか

特に「絶対に消えない」トーチを作るために目を付けたのが、海難事故の際に使う、海水に着水しても消えない救難信号筒(非常灯)。この技術を聖火トーチ®に転用しました。更に、「人が持って走る」という視点から安全であることが不可欠でした。ランナーが長時間持って走っても熱くない安全なトーチを作るために、完成にいたるまでに300本以上の試作品を作りました。また、本番で火がつか

ないという事態があってはなりません。1本も不良品が出ないように、オリンピック組織委員会が必要としている8000本を作るのに1000本の品質テストをしました。品質管理にはとても気を配りました。

### Q 大変な苦勞と工夫でできたトーチですね

強く振っても消えず、雨にあたっても、水の中でも燃え続けるトーチができました。さらにこだわったのが、厳粛な式典にふさわしい炎。これまで気体や液体燃料を使っていたところを、固形燃料にしたことにより、オレンジで明るく、ユラユラ揺れる神秘的な炎になり、ランナーの後ろにたなびく白い煙も、演出効果満点と好評でした♪

トーチのシンプルなデザインの中に技術が詰まっています。

### 意外に軽い(?)トーチ



燃焼時間は14分  
重さ:約500g  
長さ:約55cm  
直系:約3cm

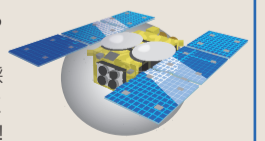
### 社員の思い

### Q トーチの製作に関わった社員の皆さんはどんな思いだったのでしょうか

火薬などをメインに扱っているわが社にとって、「オリンピック」という平和の祭典で、多くの人に感動と勇気を与える聖火の

### トーチを作った技術が宇宙で活躍!

2014(平成26)年に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ2」。小惑星から石や砂のサンプルを採取するための装置に、なんと日本工機の技術が搭載されているんです!



▶▶ 本紙8ページ～9ページに続く ▶▶

